

◆◆◆ Appendix(付録) ◆◆◆

補充問題 1

● 整数(奇数・偶数)の通り数 ●

0, 1, 2, 3, 4, 5 の 6 つの数字をすべて使って, 6 桁の整数を作る。

- (1) 6 桁の整数は何通りできるか。 (2) 6 桁の奇数は何通りできるか。
 (3) 6 桁の偶数は何通りできるか。

ヒント! 6 桁全体の整数の場合を **U**, 奇数の場合を **O**, 偶数の場合を **E** とおき, 各場合の数を順に $n(U)$, $n(O)$, $n(E)$ とおくと, (3) で $n(E)$ は $n(E) = n(U) - n(O)$ から求めることができるんだね。

解答&解説

- (1) 0, 1, 2, 3, 4, 5 の数字を使って, 作られる 6 桁の数の全場合を **U** とおくと, その場合の数 $n(U)$ は図 (i) より, 第 6 位 (十万の位) に **0** は入らないことに注意して,

$$n(U) = 5 \times \underline{5!} = 5 \times \underline{120} = 600 \text{ 通りとなる。}$$

$$\underline{5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 120}$$

……(答)

- (2) 同様に, 6 桁の奇数の場合を **O** とおくと,

$\overbrace{\text{odd number (奇数) の頭文字}}^{\uparrow}$

その場合の数 $n(O)$ は図 (ii) より,

$$n(O) = 4 \times \underline{4!} \times 3 = 288 \text{ 通りとなる。}$$

$$\underline{4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 24}$$

……(答)

- (3) 全ての整数 **U** と奇数 **O** と偶数 **E** の

$\overbrace{\text{even number (偶数) の頭文字}}^{\uparrow}$

ベン図 (図 (iii)) より, **E** は **O** の余事象 (または補集合) \bar{O} となる。よって, 偶数 **E** の場合の数 $n(E)$ は,

$$n(E) = n(\bar{O}) = n(U) - n(O) = 600 - 288 = 312 \text{ 通りとなる。} \dots\dots\dots \text{(答)}$$

図 (i) $n(U)$ の計算

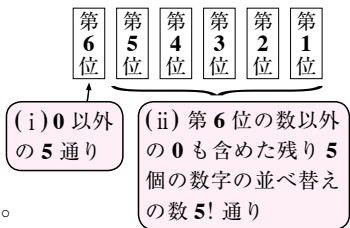


図 (ii) $n(O)$ の計算

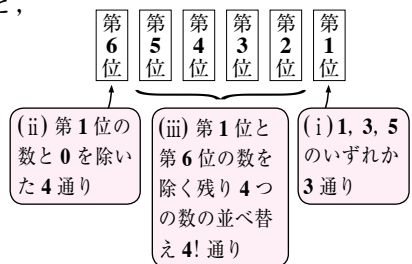


図 (iii)

